

岩見沢労基署が無災害表彰伝達式
宮坂建設工業の取組評価
 住民らの安全確保にも努め

【岩見沢発】岩見沢労基署は二十三日、同署で労働基準局長建設事業無災害表彰伝達式を執り行った。受策を徹底、重機との接触事賞したのは、宮坂建設工業(株)が運動や、地盤改良作業時(株)宮坂寿文社長が運動

「石狩川改修晩翠遊水地」の改良機転倒防止対策として足場強化・点検に対する「南長沼地区西南幹線用水路」の現場では、加藤修二署長が吉井文人士木営業部課長と瀬田日海土木部工事課長に表彰状を手渡し、無事故・無災害で工事を完了した安全管理の取組をたたえた。



瀬田日海土木部工事課長(左)に表彰状が手渡された

田嶺裕防災安全部主事、大場稔執行役員、札幌支社防災安全部長も出席。吉井人士木営業部課長と瀬田日海土木部工事課長が、加藤署長から表彰状を受け取った。

管理を向上。河川横断工の立杭・推進機内にはメタンガスの発生が予想されたため、測定計器を設置し、二時間体制で計測、送気・排気を行い爆発事故を防止した。

宮坂建設工業に

岩見沢労基署 無災害表彰伝達式



表彰状を手にする吉井さん(右)と瀬田さん

【岩見沢】岩見沢労基署は23日、同署で労働基準局長建設事業無災害表彰伝達式を執り行った。受策を徹底、重機との接触事賞したのは、宮坂建設工業(株)が運動や、地盤改良作業時(株)宮坂寿文社長が運動

伝達式には、大場稔執行役員札幌支社防災安全部長と、晩翠遊水地晩翠堤盛り土ほか、南長沼地区西南幹線用水路第2工区を施工した宮坂建設工業に建設事業無災害表彰を伝達した。

岩見沢労基署は、現場での安全対策について「河川土工や地盤改良が主体だったので、特に重機と人の併用作業に気を付けた。今後も人の命を守る意識を若い社員に伝える使命を持って業務にまい進したい」と話した。

瀬田さんは「CIIMを更に活用し、現場での安全管理の向上を図りたい」と話した。